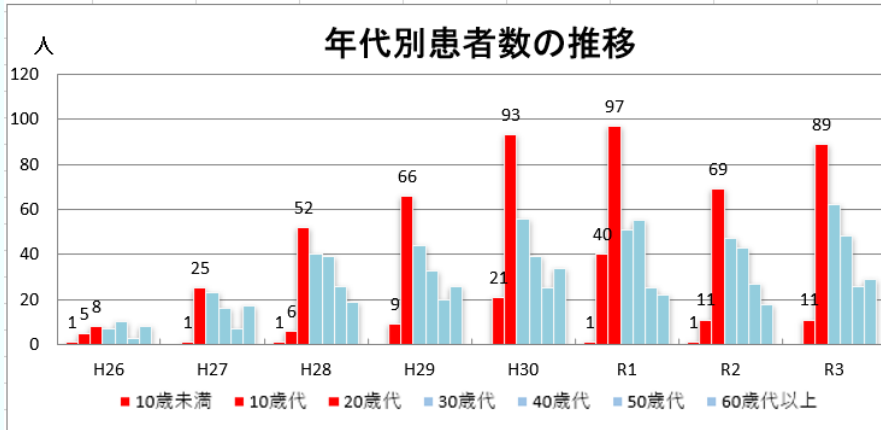


梅毒が増加しています！

兵庫県における患者報告数

令和3年の患者報告数は265人で、平成26年以降、患者数が高水準で推移しています。特に、10代20代の患者が目立っています。



妊婦の感染報告も・・・
妊婦が梅毒に感染すると流産や死産の原因となったり、先天梅毒の赤ちゃんが産まれるリスクがあるため、特に注意が必要です。

梅毒とは

梅毒トレポネーマという病原体による感染症です。感染初期には、感染部位（主に陰部、口唇部、口腔内、肛門等）にしこりができたり鼠径部のリンパ節が腫れたりしますが、痛みがないことも多く、全く症状が出ないケースもあります。感染後3ヶ月以上を経過すると、病原体が血液によって全身に運ばれ、手のひら、足の裏、体全体に「パラ疹」とよばれる赤い発疹が現れます。発疹は数週間以内に消える場合もありますが、抗菌薬で治療しない限り、梅毒が治ることはありません。治療せずに放置すると、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。

感染経路と予防

- ・梅毒は性感染症です。感染部位と粘膜や皮膚の濃厚な性的接触によって感染します。
- ・オーラルセックス（口腔性交）によってのどに感染したり肛門性交によって直腸に感染することも。
- ・予防には、性行為の際に必ずコンドームを使用することが重要です。ただしコンドームが覆わない部分の皮膚から感染する可能性もあるため100%予防できるとは限りません。

気になるときは必ず検査を受けましょう！

～健康福祉事務所・保健所では無料・匿名検査が受けられます～



医療機関の方へ

梅毒は、全数届出疾患（5類感染症）です。診断した場合は、最寄りの保健所へ届出をお願いします。

梅毒に感染していると、粘膜が傷ついているため、HIVにも感染しやすいという報告があります。梅毒を診断した場合は、必要に応じてHIV抗体検査の実施もご検討ください。HIV感染の早期診断・早期治療によりHIV/エイズの感染拡大を防ぐことができます。